

第 44 回経営協議会議事録

- I 日 時 平成 23 年 3 月 22 日 (火) 14:00~16:15
- II 会 場 筑波大学大学院 (東京キャンパス) 仮校舎: 住友神保町ビル「513K 講義室」及び本部棟
5F 大会議室 ※東北地方太平洋沖地震のため TV 会議システムにより開催
- III 出席者〔学外委員〕
大崎 仁、大竹美喜、金澤一郎、柴崎信三、末松安晴
〔学内委員〕
山田信博、清水一彦、赤平昌文、塩尻和子、森本浩一、鈴木久敏、五十嵐徹也、阿部生雄、
宇川彰、西川潔
〔オブザーバー〕
永田学長補佐室長、今井調整官

IV 議 題

〔審 議〕

- (1) 平成 23 年度年度計画について ----- [資料 1]
- (2) 平成 23 年度余裕金の運用について ----- [資料 2]
- (3) サイバニクス研究棟整備に関する建設負担金の受入れ及び
財産貸付契約締結等について ----- [資料 3]
- (4) 国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案率について ----- [資料 4]
- (5) 非常勤監事の報酬の改定について ----- [資料 5]
- (6) 職員就業規則等の一部改正について ----- [資料 6]
- (7) 教育組織編制に関する大学の基本方針について ----- [資料 7]
- (8) 学期制の見直しについて ----- [資料 8]
- (9) 大学院スタンダードについて ----- [資料 9]

〔報 告〕

- (10) 今後の教育研究体制の在り方について (答申) ----- [席上配付資料]
- (11) 教育研究体制の在り方検討委員会の答申を踏まえた組織及び運営の基本に
関する規則等の改正について ----- [資料 10]
- (12) 平成 22 年度余裕金の運用実績について ----- [資料 11]
- (13) 開学 30 周年記念事業後援会からの寄附金 (5, 000 万円) を
筑波大学基金へ繰り入れることについて ----- [資料 12]
- (14) 平成 22 年度大学教員業績評価実施結果について ----- [資料 13]
- (15) キャンパスマスタープランについて ----- [資料 14]
- (16) 経営協議会学外委員からの提言への対応 (平成 22 年度) について ----- [資料 15]
- (17) 役員等一覧について ----- [資料 16]
- (18) 第 83、84 回教育研究評議会報告 ----- [資料 17]

V 議 事

議事に先立ち、学長より 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う本学の被災状況及び災害対応の概要について説明があり、次いで、鈴木理事より詳細な補足説明があった。

〔審 議〕

- 1 平成 23 年度年度計画について
宇川副学長から、資料 1 に基づき、平成 23 年度年度計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 2 平成 23 年度余裕金の運用について
森本理事から、資料 2 に基づき、平成 23 年度余裕金の運用について説明があり、審議の結果、

原案どおり承認された。

- 3 サイバニクス研究棟整備に関する建設負担金の受入れ及び財産貸付契約締結等について
森本理事から、資料3に基づき、サイバニクス研究棟整備に関する建設負担金の受入れ及び財産貸付契約締結等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 4 国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案率について
鈴木理事から、資料4に基づき、国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案率について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 5 非常勤監事の報酬の改定について
鈴木理事から、資料5に基づき、非常勤監事の報酬の改定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 6 職員就業規則等の一部改正について
鈴木理事から、資料6に基づき、職員就業規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 7 教育組織編制に関する大学の基本方針について
清水理事から、資料7に基づき、教育組織編制に関する大学の基本方針について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
各委員からの主な発言等は以下のとおり。(以下、○は委員の発言、△は本学側の回答)
○ 志願倍率が3倍という数字は何か根拠があるのか。
△ 各学類の過去10年くらいの実績をみて3倍というのが浮かび上がってきたので、目安として3倍とした。
○ 大学院博士課程(後期)の充足率など、早急に改革が必要な専攻はあるか。
△ いくつかの専攻で該当している。特に50%を割っているのが法学、経済学、学際専攻で物質創成、生命関係でも1~2ある。3ヶ年の平均でも50%を割っており、特に経済学専攻はここ2年志願者がゼロという状況である。これは全学的に努力しなくてはいけないと思っている。
- 8 学期制の見直しについて
清水理事から、資料8に基づき、学期制の見直しについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 9 大学院スタンダードについて
清水理事から、資料9に基づき、大学院スタンダードについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

〔報告〕

- 10 今後の教育研究体制の在り方について(答申)
鈴木理事から、席上配付資料に基づき、今後の教育研究体制の在り方について(答申)の報告があった。
各委員からの主な発言等は以下のとおり。
○ インターディシプリンとディシプリンの二つの正面作戦の発想が必要になると思っている。
△ 大学として両方にモチベーションをかけていきたい。そういう意味では本部側のリーダーシップが大変大事だと思っている。
○ 大事なものはファカルティ・ディベロップメントである。教員一人一人の意識改革がないと、絵に描いた餅になる。頑張ってやっていただきたい。

- 11 教育研究体制の在り方検討委員会の答申を踏まえた組織及び運営の基本に関する規則等の改正について
鈴木理事から、資料 10 に基づき、教育研究体制の在り方検討委員会の答申を踏まえた組織及び運営の基本に関する規則等の改正について報告があった。
各委員からの主な発言等は以下のとおり。
 - 法人化のメリットを考えると、第 47 条について、学校教育法第 85 条ただし書及び第 100 条ただし書から引用する必要はないのではないか。
 - △ 大変貴重なご意見である。文科省などの考えも整理し、検討したい。
- 12 平成 22 年度余裕金の運用実績について
森本理事から、資料 11 に基づき、平成 22 年度余裕金の運用実績について報告があった。
- 13 開学 30 周年記念事業後援会からの寄附金（5, 000 万円）を 筑波大学基金へ繰り入れることについて
鈴木理事から、資料 12 に基づき、開学 30 周年記念事業後援会からの寄附金（5, 000 万円）を筑波大学基金へ繰り入れることについて報告があった。
- 14 平成 22 年度大学教員業績評価実施結果について
宇川副学長から、資料 13 に基づき、平成 22 年度大学教員業績評価実施結果について報告があった。
- 15 キャンパスマスタープランについて
森本理事から、資料 14 に基づき、キャンパスマスタープランについて報告があった。
- 16 経営協議会学外委員からの提言への対応（平成 22 年度）について
鈴木理事から、資料 15 に基づき、経営協議会学外委員からの提言への対応（平成 22 年度）について報告があった。
- 17 役員等一覧について
鈴木理事から、資料 16 に基づき、役員等一覧について報告があった。
- 18 第 83、84 回教育研究評議会報告
学長から、資料 17 に基づき、前回の本会議以降に開催された、第 83 回、第 84 回の教育研究評議会の議事の概要について報告があった。

以 上